

## アール・ブリュット作品の発掘

### 現在の作品発掘

#### ○造形現場（施設等）での発掘

施設支援員など、作家の身近にいる人の“気づき”や、社会福祉事業団と近代美術館が造形現場に出向く作品調査により発掘されている。

#### ○公募展による発掘

滋賀県では、平成23年度から「ぴかっ+0アート展」を開催し、作品の発掘を行っている。

（全国の公募展の例）

- ・ 「かんでんコラボ・アート21」…関西電力主催：東近江市の古久保憲満さんが大賞受賞
- ・ ポコラート全国公募展…アーツ千代田3331主催：古久保憲満さん、甲賀市の鎌江一美さんが受賞
- ・ 産経はばたけアート公募展…産経新聞厚生文化事業団：甲賀市の宮下幸士さんが大賞受賞

#### ○情報交流による発掘

社会福祉事業団がこれまでの取組の中で培ってきたつながりや、全国ネットワークでの情報交換から発掘されている。

### 今後さらに

#### ○作品収集を進めるなかでの発掘

新生美術館が作品収集を進め、寄贈や売却の申し出を受けるなかで、さらに発掘が進むものと思われる。

美術館で情報を蓄積

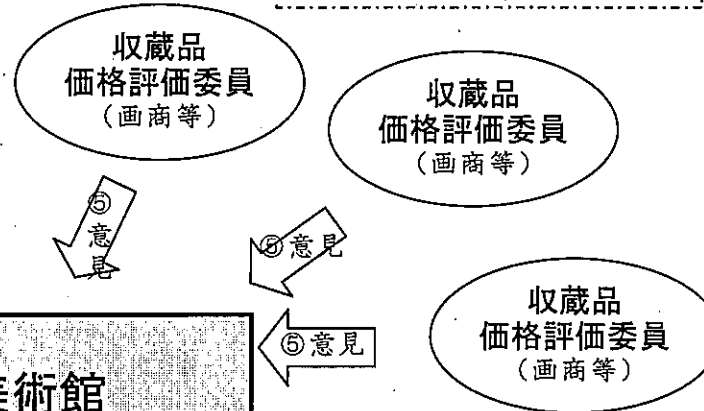
# アール・ブリュット作品の評価・収集

## 作品の評価・収集の手順（近代美術館の場合）

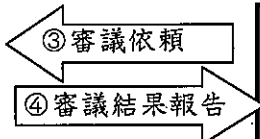
### 収蔵の手順

- ① 寄贈の申入れ、売却の打診等を受ける
- ② 美術館学芸員による調査  
(必要に応じて専門家(目利き)からアドバイス)
- ③ 寄贈の受入れ、購入について、美術館協議会(収集部門)に審議を依頼
- ④ 美術館協議会(収集部門)から審議結果が報告
- ⑤ 購入の場合、収蔵品価格評価委員(3名以上委嘱)から価格に関する意見を徴取
- ⑥ 購入の場合、所有者と価格交渉
- ⑦ 作品の受入れ

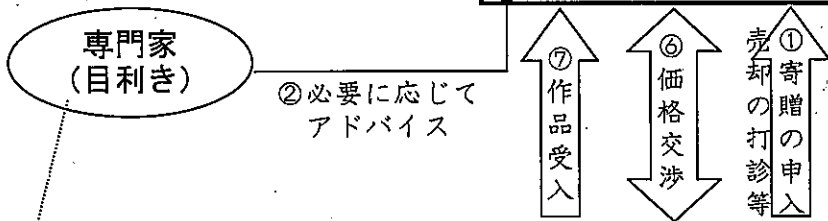
個々に独立して価格の妥当性を検討し、価格に関する意見を館長に報告



美術館協議会  
(収集部門) (有識者)



美術館  
②学芸員の調査



### アール・ブリュット評価・収集の課題

作品が限定的な市場にしか流通していない中で、どのように価格評価を行うか

有識者によるアドバイスを受けながら収集のルールづくりを進める (H26~)

※芸術性評価については、経験豊富な専門家の協力を得て判断できる見通し

## 新生美術館の収蔵品展示(常設)のイメージ

- 新たに仏教美術等とアール・ブリュットの展示空間を設ける。
- 作品によって、ふさわしい展示環境となるよう、各展示空間はそれぞれ独立させることを基本とする。(収蔵品展示は2部門⇒4部門に)

### 【現在の常設展示室】 869m<sup>2</sup>

常設展示室① 509m<sup>2</sup>  
近代の日本画  
郷土ゆかりの作品  
(小倉遊亀コーナー含む)

常設展示室② 360m<sup>2</sup>  
現代美術

拡大

### 【新生美術館の収蔵品展示】 1,500m<sup>2</sup>程度

(展示配置の一例)

収蔵品展示①  
近代の日本画  
郷土ゆかりの作品  
(小倉遊亀コーナー含む)

収蔵品展示②  
現代美術

収蔵品展示③  
仏教美術等  
(導入展示を含む)

収蔵品展示④  
アール・ブリュット

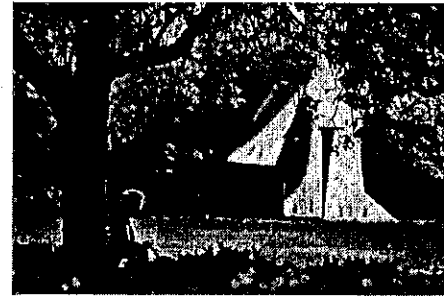
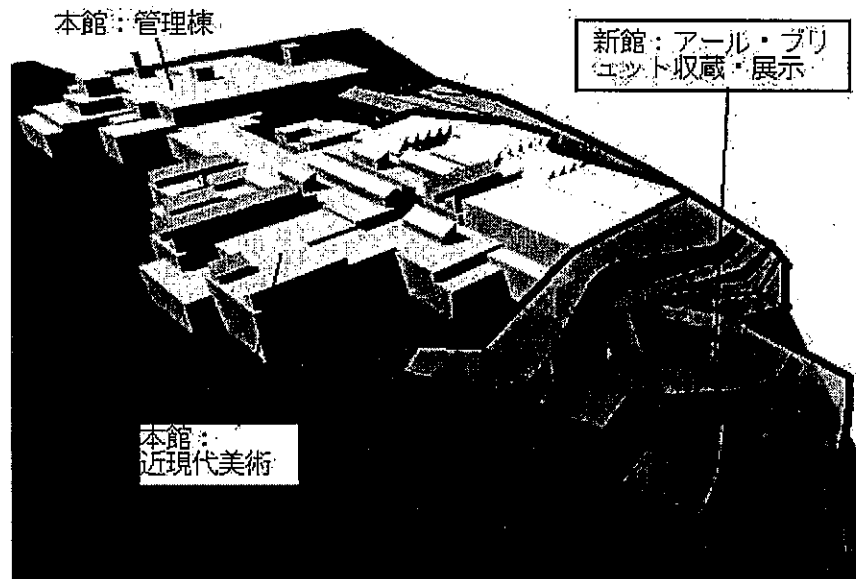
- ※ アール・ブリュットや現代美術については、エントランスやレストラン・カフェなどオープンスペースと一体化した展示も考えられる。
- ※ 既存館を含めて、整備後の各室の配置・面積は設計段階で決定する。



(アール・ブリュット作品展示のイメージ)

## (参考) フランス・リールメトロポール現代美術館 (L a M)

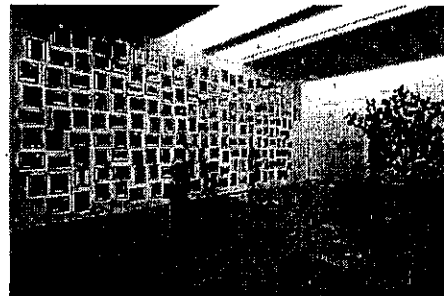
- 1983年開館。コレクションは、近代美術、現代美術およびアール・ブリュット。
- 2010年、本館に沿わせるように新館を増築し、リニューアル。  
本館で近代美術と現代美術、新館でアール・ブリュットを収蔵・展示している。



彫刻のある落ち着いた庭園には無料で入園できる。湖や森があり、週末や休日には、ピクニックを愉しむ人も。



2010年に新館を増築。



新館には、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカなどのアール・ブリュット作品3,500点以上を収蔵。アール・ブリュットは、純粋に作品を楽しむ子供たちに人気とのこと。